



〈第56回羽工祭〉



第 55 号  
羽工工業高等学校  
2019年3月1日



## 「自律と創造」

PTA 会長 西 栄次

平成三十年度も残り三ヶ月を切り、学校行事や P T A 事業も先生方、P T A 役員、保護者の方々のご協力により、無事に進めることができました。改めて皆様には感謝を申し上げ、最後まで悔いの無いように努めていきたいと思えます。

生徒たちも三学期に入り、新たな思いや目標を持ち、取り組む時期ではないかと思えます。

一年生は夢や希望を胸に入学し、学校にも慣れてきたと思います。進級するにあたり後輩が入学したとき

に自分達が経験した事を活かし、部活動でも後輩を引っ張り、まとめ、指標となる様するべきことは何かを考え、先輩としてのさらなる成長を願っています。二年生は具体的に将来のビジョンを持って、進路を決めなければならぬ時期になります。進学、就職、何れも自分の人生に大きく影響する決断だと思えます。これから先、自分の人生において色々な決断をしていかなければいけません。まずは自分の思いを伝える事、悩み、迷い、希望を含めて色々な人に伝え、考えや意見を広く受け取れるようになりましょう。そして自分の意見や考えをしっかりと持ち、そこからの「自己決定」であることが大切です。人の意見に流されることなく、「自分はどうしたいのか」を知ったうえで、先生や保護者や友人に相談し、想いを伝え後悔のないように決断してください。

最後に羽工工業高校の生徒たちが社会人になるにあたり校訓でもある【自律と創造】を大切に、そしてその意味をよく理解し、自らの人生に活かして欲しいと思えます。

【自律】とは、「自分で考え、自分で行動すること」であり、単なる生活等での外的な自立ではなく、価値観や信念、理念等の内的な意味を持

ちます。二年生への言葉でも触れましたが、「自己決定」を本当の意味でできるかどうか、ただの「自己中心的な決定」ではなく「責任を伴った」ものであることです。そして【創造】とは、新たに創り出す事をさします。新たな「ものづくり」をそれぞれの道でトライして下さい。そして、失敗も後悔もあって当たり前、経験として次の一歩に活かせるよう、何事にも前向きな心と感謝の気持ち忘れず、自分の人生を楽しめるように成長できることを願っています。



〈ものづくり会議〉



# 「感性を磨くには」

校長 稲垣 裕

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、卒業生の保護者の皆様には、お子様が無事に三年間の高校生活を終え、めでたく御卒業されますことに心から御祝を申し上げます。

今年、改元の年であり、新しい時代がスタートします。世の中は、情報化やグローバル化が人間の予測を超えて進展しています。働く現場では、人工知能やロボットが導入され、今後十〜二十年で現在ある仕事の約半分が消える、無くなる仕事であると予測されています。このままでは、人工知能やロボットに仕事を奪われる心配があります。しかし、人間にしかできない仕事は数多くあります。プログラムを作成し、人工知能やロボットを制御するのは人間です。また、人間には、感性があり

ます。感性は人間の心が持つ強みであり、感性を働かせ、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していかねければなりません。三学期始業式で、感性を磨く一つの方法として「疑問をもつ」という話をしました。最初は言葉の意味や由来のように、辞書やインターネットで検索すると答えがわかる疑問でも良いでしょう。目の前で起こる多くの出来事をただ受け入れるのではなく、何かを見たとき、聞いたとき、触れたときに感覚を研ぎ澄まし、何かを感じ、疑問を持つことが、感性を磨くことに繋がると思います。

また、学習・部活動・資格取得などでうまく進まないときや目標を達成できないときに、自分の考え方や取り組み方法に疑問を持ち、原因や解決方法を考えることにより、発見や工夫・改善が生まれ、目標が達成できるのではないのでしょうか。感性を磨くには、「日常を逸脱する経験をすること」「芸術に触れること」などが必要と聞きますが、まずは日常生活の中で、「疑問をもつ」ことから始めて、それぞれの感性に磨きがかかることを期待します。

我々教職員は、生徒の感性に磨きをかけるとともに、感じたことを発信する表現力等の育成を図り、本校の良き伝統を守り、地域産業の担い

手となるよう努力を続ける所存です。今後とも保護者の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## グッドマナーキャンペーン 自転車マナー県下一斉指導



〈自転車マナー県下一斉指導〉

九月十八日(火)から二十一日(金)にかけてグッドマナーキャンペーンが行われました。また、自転車マナー県下一斉指導が二十一日(金)の朝七時五十分より羽咋駅周辺および校門付近の交差点で、保護者やPTA役員

の方々、教職員、生徒会役員が参加して行われました。元気な挨拶や自転車の並列走行、携帯電話をいながら運転をしないように注意を促し、正しい自転車の乗車マナーや横断歩道を渡る際の安全指導が行われました。

## 羽工祭

九月二十八日(金)二十九日(土)に羽工祭が開催されました。二十八日(金)は各クラスのステージ発表が、二十九日(土)は雨天の中で一般公開が行われ、PTAの模擬店を出店しました。朝早くからクレープを作り、コーヒートの準備をして、店頭に並べました。皆さんとても手際良く美味しいクレープが出来上がりました。また、コーヒールームも美味しく、クレープとともにすぐに完売となりました。

忙しい日々の中で時間をやりくりし、羽工祭を盛り上げて下さった母親委員会の方々、そして、お父さん方には大変感謝いたしております。ありがとうございます。



# PTA 研修旅行に参加して

副会長 一瀬 明彦

十一月二十三日(金)～二十四日(土)の一泊二日の日程で行われた P T A 研修旅行に参加させていただきました。今回は、初日に、岐阜県郡上八幡「サンプル工房いわさき」での食品サンプル作り体験と、「トヨタ博物館(愛知県長久手市)」の見学、二日目は「高山自動車短期大学」での学校説明・施設見学会、そして高山市の古い町なみ散策をしました。

サンプル作り体験では、レタスとエビの天ぷら作製に挑みました。まずは工房の方に一通りやり方を習ってから、まさに見様見真似でやってみました。レタスは本物とは程とおい「モノ」となってしまうようですが、エビの天ぷらは本物と見間違えるほどの作品になったと自負しています。家に持って帰ってからは、間違っただ食べてしまわないよう注意が必要です。

昼食後、しばらく時間があるとのこと、行程にはない郡上八幡城までの軽いトレッキングにより心地よい汗をかくことができました。

次に訪れた「トヨタ博物館」は、トヨタ自動車創立五十周年を記念して一九八九年に創立された施設で、本館、新館合わせて世界の車約百

四十台を中心に自動車誕生以来の歴史が展示されており、その光景に圧巻されました。自動車好きの方にはたまらない空間だと思います。

二日目は、「高山自動車短期大学」にて学校説明を受け、施設見学を行いました。自動車が大好きな学生さんが集っており、国家資格のガソリン、ジーゼルの両方またはどちらか一方の整備士免許を取得することで就職率が高く、景気の良さもあって就職先は引手あまただそうです。特筆すべきは、世界ラリーに参戦していることはもとより、その車を自分たちで創り上げているということ、メカに弱い私でさえ、過酷なラリーに参加する車を創り上げるといふことはとても大変な事なのだろうと、よって自信や誇りに繋がっているのだらうなと感じました。「高山まつりの森」の美術館では、いろいろな山車をみる事ができ、高山の町なみを散策して、おいしいもの

(流行りの名物)を見られました。今回の研修旅行に P T A からの参加が五名と少なかつたのがとても寂しかった。このような機会がないと行けないところ、見られないところ、体験できないことがあると思いますし、P T A 同士や先生方との親睦などなかなか行えないとも思

ます。来年は、たくさんの方に日程調整をしていただいて、楽しく有意義な研修となればいいなと思いましたが。

最後に、今回お世話いただいた校長先生をはじめ先生方に感謝申し上げますとともに、参加された方々にもいい思い出をつくっていただけたことを感謝して報告とします。ありがとうございました。



<PTA 研修旅行(高山自動車短期大学)>

## 第四十六回石川の技能まつり

十月二十一日(日)に石川県産業展示館3号館とポリテクセンター石川において、第四十六回石川の技能まつりが開催されました。本校は工業部会の取組として、小中学生及びその保護者を対象にモノづくりへの興味・関心を高めるために、「モノづくり体験コーナー」を運営しました。

体験内容は「光センサーボールの製作」となっており、フォトダイオードを使ってメロディが変わるオルゴールを作る体験を、各一時間計四回実施しました。体験コーナーで子どもたちに製作を指導する本校コンピュータ部の生徒たちは、練習を活かし懸命に体験コーナーでの説明を行いました。また、「いしかわ技の祭典」の旋盤加工部門では、本校三年の田中花道君が優秀賞を受賞しました。

## 課題研究公開發表会

一月二十六日(土)コスモアイル羽昨において、課題研究公開發表会が行われました。中央の小ホールには各科の作品が展示されました。また、発表者の三年生は日頃の研究成果を発表しました。会場には企業、一般、保護者、百名を超える中学生も訪れ、発表者の生徒に研究に関する質問をする場面もありました。



<課題研究公開發表会>